

まちの話題

TOPICS



7/31 学校の森・子どもサミット

小学生が森林体験学習を通して森林環境の理解を深める「学校の森 子どもサミット」が県内で開催されました。国土緑化推進機構(東京)などが作る実行委員会が開催しており本年が5年目。

今年は福井県里山里海湖研究所が県内の自然をアピールしようと誘致し、全国の小学校10校の児童と教員ら約250名が参加しました。

初日の7月30日は福井市のアオッサにて気山小学校の児童が「森と湖のつながり」と題し発表しました。他に県内2校を含む各校が森林体験学習を紹介しました。

2日目のこの日は久々子湖周辺にて生き物調査やしじみ取り体験を行い、湖の豊かさを実感していました。



8/4 若狭瓜割名水まつり

恒例となった「名水まつり」が若狭瓜割名水公園(天徳寺)において開催されました。



屋台



屋台



名水野点茶会



名水流しそうめん



水風船キャッチ

上中中吹奏楽部の演奏、よさこい踊り、バンド演奏、こいけ翔太歌謡ショーなどのほか、夜には花火もあり、遅くまで賑わっていました。

8/5 パレ若塾『SUP体験教室』

世界中で人気急上昇中のSUP（スタンドアップパドル）の体験教室が食見の海岸で行われました。SUPというのはじめての体験を通して、新文化にふれることや地元の海の楽しさを再発見してもらうことを目的に実施されました。この日は天候がよく、ベタ凧の海で、小学4年生の子どもから大人までが、海の底が見える海上散歩を楽しみました。参加者は、「SUPで浜の外へ出ると、こんなに素敵な場所があるんだ！と気づけました」と話していました。



8/5 縄文であそぼう! DOKIDOKI体験



若狭三方縄文博物館友の会「DOKIDOKI会」が古代の生活や文化を体験してもらおうと縄文ロマンパーク(鳥浜)で体験会を開催しました。

この日は快晴で、穏やかなはず川で丸木舟を模したFRP（繊維強化プラスチック）製の舟に2～3人が乗船し楽しみました。

また勾玉を作る体験もあり、砥石で約3cm角の勾玉を磨き、オリジナルのアクセサリを作りました。

8/8 母と子と縄文で

縄文時代の「土偶」の丸いお腹は命が宿っている母性の象徴であり、子孫繁栄や豊穡の願いが込められています。この日8月8日(はは)=母にちなみ、土偶の丸いお腹がモチーフになっている丸い形の若狭三方縄文博物館の中でイベントが行われました。

わらべ歌や手遊びうたを小林容子さん(下吉田)と久保上一美さん(南前川)が演奏し、親子一緒になって楽しみました。フィンガーペインティングでは、山本朋子さん(安賀里)を講師に片栗粉を煮てトロトロになった中へ絵の具を加え直接手を使ってこねてベタベタヌルヌルの感触を楽しみました。手形スタンプで作品も作りました。その後、瀧澤助産院の佐野裕子助産師さんによる「みんな赤ちゃんだった」～いのちの誕生～と題する講演も行われました。この日一日、いつもとは違うほほえましい雰囲気縄文博物館でした。



8/16 鳥浜納涼大会

鳥浜貝塚公園において、鳥浜青壮年会が主催する灯ろう流しと納涼大会が行われました。

このうち、灯ろう流しは昭和37年に一時途絶えたものを、昭和57年に青壮年会が復活させ、以降納涼大会とあわせて鳥浜区の恒例行事となっています。

この日は灯ろう流しの他、たこ焼きや焼き鳥などの出店、「鳥浜伝統文化を守る会」によるシテナ踊りなどで賑わい、最後は約1000発の花火が夜空を彩りました。

鳥浜青壮年会の千田茂会長は「今年も鳥浜区内外から多くの方にお越しいただけた。灯ろう流しをはじめとした鳥浜の恒例行事をこれからも絶やすことなく、次代に受け継いでいきたい。」と熱い思いを話してくださいました。



8/17
~19

チャレンジウォーク

参加した児童ほか約40名が隊列を組み、南越前町まで約50kmの道のりを3日間かけて歩く「第19回チャレンジウォーク」が開催されました。

最終日は、キャンプ地である敦賀市立咸新小学校を出発し、木ノ芽峠を越え、今庄365スキー場を経て、少し日焼けした顔をほころばせ、元気に若狭町へ帰ってきました。

〈写真：四方由紀子〉

8/19 古墳現地見学会

第2回若狭町歴史環境講座「古墳の見方と活かし方」と銘打ち、バスで巡る若狭町古墳現地見学会が行われました。当日は晴天のもと、約30名が奈良文化財研究所の林正憲先生の解説で上中古墳群を見学しました。林先生は「古墳というのは後世の者が積極的に保存していかなければ残らないものなのです。」と重要性を語られ、丁寧に古墳の由来を説明してくださいました。



8/19

風祈能

宇波西神社(気山)で五穀豊穡を祈願する伝統芸能「風祈能」が秋祭りに合わせ行われました。「若狭能倉座」により、県無形文化財に指定されている「一人翁」などが演じられました。第83代座長の福谷喜義さん(能登野)が境内の能舞堂でゆったりとした舞と謡を披露し、厳粛な雰囲気包まれました。他、座員約20名が計5演目を演じました。
〈写真:四方由紀子〉



8/23

健全な行財政を目指して ～若狭町行財政懇談会～

若狭町の行財政運営の更なる効率化を実現するため、今年度の若狭町行財政懇談会を開催しました。懇談会は、福井県立大学地域経済研究所所長の南保勝教授を会長とし、町内の有識者等で構成されます。

8月23日に第1回目の会議が開催され、昨年度策定された「若狭町行財政改革プラン」の内容についての検証などが行われました。

また、公共施設の使用料については、受益者負担の観点から、来年度以降、使用料を徴収する方向で検討を進めていくことが確認されました。

今後、健全な行財政のあり方について意見交換を実施し、町に対して提言していく予定です。

8/26

原子力総合防災訓練

関西電力大飯・高浜原発の同時事故を想定した国の原子力総合防災訓練が8月25・26日の2日間行われました。この日は、三方小・明倫小校下の約200名が勤労者体育館(中央)に集まり安定ヨウ素剤の説明の後、バス6台に分乗し出発しました。途中、南条勤労者体育センターで放射能汚染検査(スクリーニング)を受け、指定避難地になっている越前町生涯学習センターに向かいました。越前町では各集落の避難場所を確認し、若狭町に戻って来ました。猛暑の中、長距離の移動で大変でしたが、参加者たちは実際に経験して良かったと感じていました。





島根県石見地方が誇る郷土芸能「石見神楽」(島根県浜田市)



400年にわたり城下町郡上八幡で歌い踊り続けられている「郡上おどり」(岐阜県郡上市)

第9回 伝統文化のつどい

若狭町伝統文化保存協会 創立10周年記念

石見神楽と郡上おどりと
町内民俗芸能の共演



多由比神社 王の舞(若狭町田井)

とき

平成30年10月21日(日)
開演 13:30(開場 13:00)

ところ

パレア若狭音楽ホール
若狭町市場18-18 TEL.0770-62-2508

入場無料
要入場券 ※自由席

9月8日(土)配付開始
※1回の配付は、お一人様5枚までと
させていただきます。

入場券
配付場所

パレア若狭チケットカウンター
若狭町税務住民課・上中サービス室
若狭三方縄文博物館

【お問い合わせ先】若狭町歴史文化課(若狭三方縄文博物館内)
〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-12-1 TEL.0770-45-2270

主催/若狭町伝統文化保存協会
協賛/関西電力株式会社
後援/福井県無形民俗文化財保護協議会
若狭町文化協会 福井新聞社

ハナ&アート
フェス2018